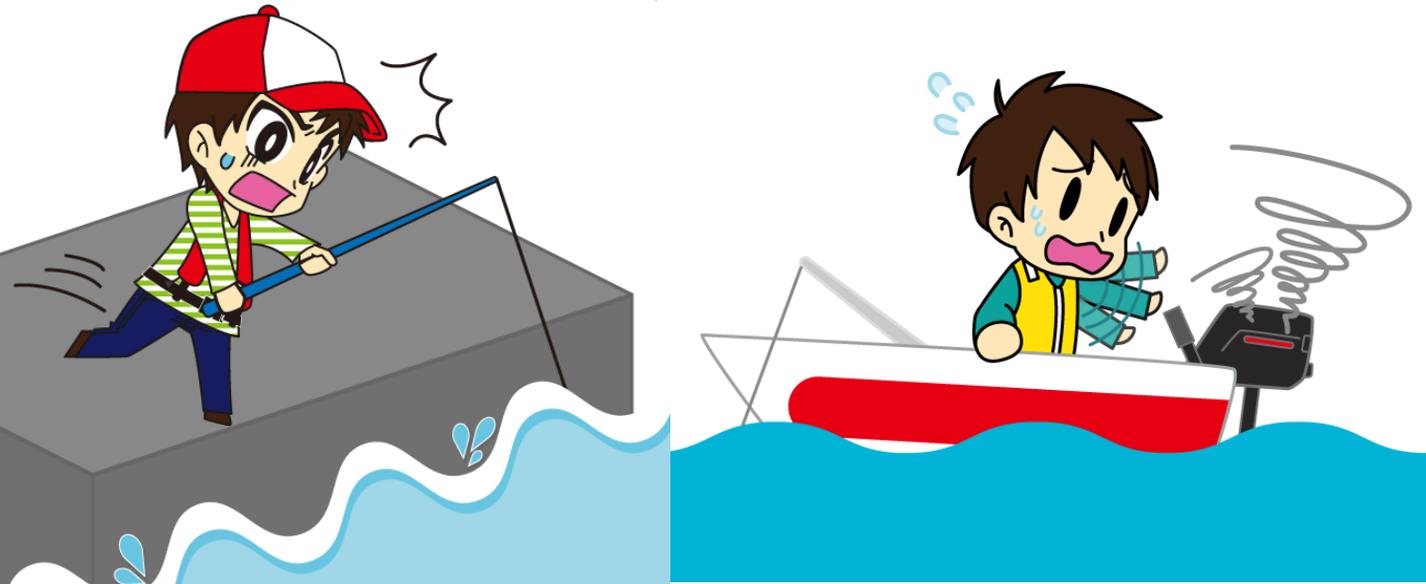


## 釣り中の事故が増えています



本格的な冬がやってきた今日この頃、「防波堤から海に落ちた」、「プレジャーボートで海釣りに出かけ、エンジンが故障し帰港できなくなった」など、海での釣りに伴う様々な事故が発生しています。

今月も、消波ブロック上で釣りをしていた方が、波を受けて海中転落し、残念ながら溺れて亡くなる事故が発生しています。

### 自船の安全確保3か条

- その1 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- その2 航行時、常時見張りの徹底
- その3 故障時に備え、救助支援者の確保



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1  
(代表) 022-363-0111  
(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず屋 検索

# 11月に発生した釣りに伴う事故事例

青森県深浦町の漁港付近浅瀬で、倒れている男性が発見され、死亡が確認されました。

男性は、漁港付近の防波堤で釣りをしていた姿が目撃されており、防波堤上には、釣竿やクーラーボックスが残されたままで、また、付近海上では男性のものと思われる救命胴衣が発見されました。男性は釣り中に誤って海中転落、救命胴衣は転落の際に脱げてしまったと推測されています。

**救命胴衣（ライフジャケット）は適切に着用することで  
はじめて機能を発揮します。**

- ・ファスナーはきちんと締めていますか
- ・肩、腰、胴回りのベルトをきちんと締めていますか
- ・股下ベルトは必ず通していますか

## 海釣りにおける自己救命策

- ・ライフジャケットの常時着用
- ・気象、海象の把握
- ・複数名での行動
- ・連絡手段の確保



マリレ情報よろず屋  
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト  
(沿岸域情報提供システム)

